

一般社団法人自然資源保全協会
令和4年度事業報告書

自然資源保全協会（GGT）は、設立以来、環境及び自然資源の保全とその持続可能な利用を推進するという協会の目的を達成するため、さまざまな活動を実施してきた。特に、一般への普及活動、各種実態調査、内外を問わず志を同じくするNGOとの連携活動は重要な事業であると位置づけて積極的に取り組んでいるところである。また、新型コロナウイルス蔓延に伴い制限されていた対面による国際会議も再開される方向にあり、令和4年度はIWC総会、CITES締約国会議に参加した。

I. 組織状況（会員）

種別		令和3年度末	増	減	令和4年度末
正会員	法人	35	3	1	37
	個人	82		3	79
	小計	117	3	4	116
賛助会員	特別	1			1
	法人	6		1	5
	個人	28	2		30
	小計	35	2	1	36
計		152	5	5	152

II. 広報普及活動

(1) 講演会・イベント等の開催および参加

- ① 令和4年7月1日に宮城県気仙沼市において開催された「ワシントン条約（CITES）第19回締約国会議に向けた附属書掲載提案に係る説明会」において、11月のCITES第19回締約国会議に向けた水棲種に関する附属書掲載提案について、メジロザメ科を中心に説明した。
- ② 令和4年8月25日に宮崎市において開催された「宮崎県養鰻管理協議会定期総会」において、ワシントン条約における議論、特にウナギに関する動向について情報発信した。
- ③ 令和4年12月16日に宮城県気仙沼市において開催された「ワシントン条約（CITES）第19回締約国会議における附属書掲載提案の審議の結果に係る説明会」において、11月のCITES第19回締約国会議における水棲種に関する議論の概要について、メジロザメ科を中心に報告した。

- ④ 令和5年1月18日に東京都内において、「GGTフォーラム CITES 報告会」を開催し、11月のCITES第19回締約国会議における水棲種に関する議論及び結果等の概要について情報発信した。
- ⑤ 定期的に行なわれた国際対策委員会、持続的海洋水産資源利用体制確立事業検討会等に参加し、GGTが収集した国際動向について情報発信につとめた。

(2) 会報等の発行

会報としてのニュースレターを7月15日、1月16日に発行した。

(3) パンフレット、資料等の作成配布

当協会主催の講演会あるいは関連シンポジウム等の場を利用して、これまでに作成した資料やパンフレット・ポスター等を配布した。さらに、本年度はCITES第19回締約国会議にあわせ、同会議に提出された附属書掲載提案に対するGGTの勧告を取りまとめたパンフレット（英文）を作成し、締約国会議会場等で広く配布した。

これまでの出版物やパンフレット等については、当協会のウェブサイト (<http://www.ggt.or.jp>) 上で公開し、会員をはじめ広く利用できるようにしている。

Ⅲ．資源情報調査活動

(1) 情報の収集

日常的に海外の政府関係機関、環境保護団体等の動向に関する情報を収集し、関係者に提供した。

特に、水産庁補助事業において海外コンサルタント3者とコンサルタント契約を締結し、また、別途会員団体等が契約するコンサルタントからも、海外漁場に関係する各国政府や国際機関の情報、海外の環境保護団体の動向、IUU漁業への対応、漁業補助金の議論等の情報収集につとめ、日々関係先に提供した。収集した情報は1年間で353件にのぼった。

(2) 調査事業等の実施

① 水産庁からの委託事業として、平成30年度からの5か年事業の最終年となる「漁場環境改善推進事業のうち海洋生態系保全国際動向調査事業」を受託し、以下の活動を実施した。

- ・ 海洋保護区検討会を組織し、我が国の海洋保護区の評価や情報発信のあり方について議論を行い、今後求められることになる海洋保護区の評価のガイドラインについて取りまとめた。
- ・ 定置網に混獲されるウミガメの混獲回避装置の有効性に関する調査を行った。
- ・ CITES第19回締約国会議に向けて附属書掲載提案検討会を組織し、各提案について分析、対応等を取りまとめた。

- ② 東京象牙美術工芸協同組合からの請負事業として、令和4年度も東京都経営安定対策事業（象牙原料確保調査事業）を実施し、国内における象牙製品の取り扱いについての普及啓発のためのパンフレットを作成、関係者に送付した。
- ③ 宝石珊瑚保護育成協議会からの委託事業として、CITES 第19回締約国会議に向けた海外情報を収集するとともに、我が国の宝石サンゴ増殖活動や資源調査の取り組みについて情報発信した。また、宝石サンゴ資源管理についての意見交換に参加、助言した。

IV . 国際会議等への参加および海外交流活動

(1) 国際会議等への参加

コロナの影響で中断、あるいはオンラインによる会合となっていた対面による国際会議が再開された。参加した主な会議は次の通りである。

FAO 第35回水産委員会： 令和4年9月（オンラインで参加）

IWC 第68回総会： 令和4年10月

CITES 第19回締約国会議： 令和4年11月

(2) 海外NGO等との協力

海外のNGOとの関係強化を図り連携を進めていくために、スイスのIWMC、ベルギーのEBCD、その他米国等の持続可能な利用を支持する海外NGO、コンサルタントと協力して、環境問題に関する国際的な動向について連携して情報収集活動を行った。

さらに、ラオスとの間で、先方政府関係者とIWCやCITESにおける協力関係の維持発展について意見交換を行った。

貸借対照表

(令和5年3月31日 現在)

一般社団法人 自然資源保全協会
(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,117,817	35,862,866	4,254,951
未収金	8,898,413	8,494,621	403,792
流動資産・合計	49,016,230	44,357,487	4,658,743
2. 固定資産			
(1) 基本資産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
什器備品	6,606	19,920	▲ 13,314
敷 金	1,851,232	1,851,232	0
その他の固定資産・合計	1,857,838	1,871,152	▲ 13,314
固定資産・合計	1,857,838	1,871,152	▲ 13,314
資 産 ・ 合 計	50,874,068	46,228,639	4,645,429
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	313,944	337,232	▲ 23,288
未払消費税等	823,300	801,100	22,200
預り金	91,796	129,916	▲ 38,120
流動負債・合計	1,229,040	1,268,248	▲ 39,208
2. 固定負債			
退職金給付引当金	16,246,600	14,551,200	1,695,400
固定負債・合計	16,246,600	14,551,200	1,695,400
負 債 ・ 合 計	17,475,640	15,819,448	1,656,192
III. 正味財産の部			
1. 指定・正味財産	0	0	0
(うち、基本財産、特定資産への充当額)			
2. 一般・正味財産	33,398,428	30,409,191	2,989,237
(うち、基本財産、特定資産への充当額)			
正味財産・合計	33,398,428	30,409,191	2,989,237
負債及び正味財産・合計	50,874,068	46,228,639	4,645,429

正味財産 増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

一般社団法人 自然資源保全協会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産 増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費 収入	18,688,000	17,826,000	862,000
(一般会費)	(7,890,000)	(7,970,000)	(▲ 80,000)
法人会費	《 7,030,000 》	《 7,130,000 》	《 ▲ 100,000 》
個人会費	《 860,000 》	《 840,000 》	《 20,000 》
(賛助会費)	(10,798,000)	(9,856,000)	(942,000)
賛助特別会費	《 10,500,000 》	《 9,500,000 》	《 1,000,000 》
賛助法人会費	《 250,000 》	《 300,000 》	《 ▲ 50,000 》
賛助個人会費	《 48,000 》	《 56,000 》	《 ▲ 8,000 》
② 事業 収入	21,588,800	23,223,400	▲ 1,634,600
海洋生態系保全国際動向調査事業	(15,902,000)	(15,902,000)	(0)
象牙原材料確保調査事業	(1,086,800)	(2,721,400)	(▲ 1,634,600)
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査事業	(600,000)	(600,000)	(0)
③ 補助金等 収入	19,996,413	18,092,621	1,903,792
国際漁業資源持続的連携強化促進事業	(19,996,413)	(18,092,621)	(1,903,792)
④ 雑収入等 収入	310	308	2
受取利息	(310)	(308)	(2)
経常収益・計	60,273,523	59,142,329	1,131,194
(2) 経常費用			
(事業費 支出)	43,098,365	42,062,476	1,035,889
① 役員報酬	(3,577,192)	(3,431,460)	(145,732)
② 職員給与	(7,996,883)	(8,504,325)	(▲ 507,442)
③ 賃 金	(0)	(1,790,000)	(▲ 1,790,000)
④ 旅費交通費	(2,755,558)	(860,153)	(1,895,405)
⑤ 会 議 費	(1,068,131)	(2,727)	(1,065,404)
⑥ 印刷製本費	(1,188,281)	(690,645)	(497,636)
⑦ 書籍購入費	(0)	(0)	(0)
⑧ 通信運搬費	(239,186)	(118,261)	(120,925)
⑨ 租税公課	(1,187,406)	(1,416,280)	(▲ 228,874)
⑩ 調 査 費	(25,085,728)	(25,248,625)	(▲ 162,897)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(管理費 支出)	12,490,521	13,068,156	▲ 577,635
①役員報酬	(622,808)	(1,368,540)	(▲ 745,732)
②職員給与	(1,907,117)	(1,488,975)	(418,142)
③法定福利費	(2,411,891)	(2,459,029)	(▲ 47,138)
④福利厚生費	(264,942)	(279,427)	(▲ 14,485)
⑤広報活動費	(22,000)	(11,000)	(11,000)
⑥交 際 費	(0)	(0)	(0)
⑦会 議 費	(15,330)	(13,200)	(2,130)
⑧旅費交通費	(889,644)	(930,886)	(▲ 41,242)
⑨通信運搬費	(201,142)	(222,754)	(▲ 21,612)
⑩消耗品費	(121,780)	(82,439)	(39,341)
⑪水道光熱費	(201,287)	(162,856)	(38,431)
⑫新聞図書費	(139,968)	(139,968)	(0)
⑬諸 会 費	(626,480)	(626,425)	(55)
⑭支払手数料	(540,430)	(605,628)	(▲ 65,198)
⑮事務所費	(3,836,784)	(4,054,078)	(▲ 217,294)
⑯租税公課	(599,094)	(452,580)	(146,514)
⑰減価償却費	(13,314)	(13,310)	(4)
⑱雑 費	(76,510)	(157,061)	(▲ 80,551)
経常費用・計	55,588,886	55,130,632	458,254
当期経常・増減額	4,684,637	4,011,697	672,940
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	1,695,400	200,000	1,495,400
退職給付引当金	(1,695,400)	(200,000)	(1,495,400)
当期経常外・増減額	▲ 1,695,400	▲ 200,000	▲ 1,495,400
当期一般正味財産・増減額	2,989,237	3,811,697	▲ 822,460
┌ 一般正味財産・期首残高	30,409,191	26,597,494	3,811,697
└ 一般正味財産・期末残高	33,398,428	30,409,191	2,989,237
II. 指定正味財産 増減の部			
当期指定正味財産・増減額	0	0	0
┌ 指定正味財産・期首残高			
└ 指定正味財産・期末残高			
III. 正味財産・期末残高	33,398,428	30,409,191	2,989,237